

登録コード	T1028400	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習(16T以降)					担当教員	錦織 広昌 他
英文授業名	Presentation Practice					副担当	萩尾 健史
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	物質化学科4年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ						
	【22T～】専門的学力を基礎とし, 的確な情報を収集・理解し, これを他の人に発信できる能力が身についている。				⇔	これまでに学んだ専門的知識を基礎として, 専門的文献を読むことで, 情報を的確に収集・理解し, それを発表会等を通して他者に発信することができるようになる。	
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				⇔	専門的文献を読み理解することを通して, 様々な課題や解決法を見つけることができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	専門分野における英語原著論文や総説を読み, 論文の内容を理解し, 批評を加えつつ要約を発表して議論することにより, 理解力, プレゼンテーション能力, コミュニケーション能力を養う。						
(5)授業計画	配属先の研究室内の指導教員が担当する。プレゼンテーション技術向上のため, 定期的に研究室内での発表会・討論会等を設ける。 1. 対象とする専門的文献の選定と用意 2. 文献精読と理解・考察; 参考文献の調査 3. 発表準備(スライド作成, 発表練習) 4. 発表と質疑応答 5. まとめ; 授業アンケート						
(6)成績評価の方法	文献解析における理解力とプレゼンテーション技術をもとに総合的に評価する。						
(7)成績評価の基準	成績が90点以上の場合, 授業の到達目標の水準から見て「卓越している」と見なし, 秀とする。80-89点では「かなり上にある」と見なし, 優とする。70-79点では「上にある」と見なし良とする。60-69点では「水準にある」と見なし, 可とする。59-50点以下では水準より「やや下にある」と見なし, 不可(D)とする。49点以下では「水準にない」と見なし, 不可(F)とする。						
(8)事前事後学習の内容	配属先の研究室内の指導教員が随時指示する。						
(9)履修上の注意	配属された研究室内の指導教員が指示する。						
(10)質問,相談への対応	配属先の研究室内の指導教員が随時対応する。						
(11)その他							
【教科書】	配属された研究室内の指導教員が指示する。						
【参考書】	配属された研究室内の指導教員が指示する。						